

## 2022年度事業報告

一般社団法人東京都バスケットボール協会  
専務理事 小西道雄

### < 方針 >

(公財)日本バスケットボール協会の理念「バスケットボールで日本を元気にします」を受け、(一社)東京都バスケットボール協会も継続的な組織活性化・充実を目指した積極的な取り組みを推進していく！

スポーツ界の透明性・公平・公正性の向上に向けた活動の推進の取り組み、バスケットボールを楽しむ人が増え、安全な競技環境を構築していく

### < 活動状況と結果 >

#### 1. 財政面

新型コロナウイルス感染症が収まる状況が見え始めたなか、当初計画していた主催大会及び事業がすべて開催できました。まだ完全復活の状況ではなかったがコロナ前の活動の活性化を目指し、事業活動へ注力した。積極的な活動での収支結果は、単年度で△14,000kマイナスになってしまった。

##### 【収入】

事業環境が改善傾向のためか前年実績より大幅な増収であったが、対予算で約2百万未達であった。不足分はU12(鈴木正三杯)、U15(Jr.WC 都予選)の部会協力でスポーツ振興助成制度(toto助成)を活用し不足分を補うことができた。

##### 【支出】

全ての大会が開催できたこともあるが、まだ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染防止対策等慎重な大会運営を行ったことや強化事業に積極的に取り組んだこと、ミニ国体と呼ばれる国体関東ブロック大会は予算立てのミスもあり大きな支出になってしまった。

#### 2. スポーツ界の透明性・公平・公正性の向上に向けた活動の推進

前年度よりガバナンスコードの自己説明についてはチェックシートによりチェックを行いHPにて公表できた活動そのものが停滞気味であった。今後は理事役員へ対しての研修等も含め一層活動を進めていく。

### 3. 競技力向上事業(競技スポーツと生涯スポーツ)

#### ①アンダーカテゴリー分野事業！

U18のリーグ戦がますます活性化してきており、参加チーム数も男子72、女子54で基本6チームのブロックでのリーグ戦を展開している。2023年度は更に参加チームが増えるとの報告もあり今後が楽しみな事業になってきている。

U15は第3回全国Jr.WCの予選として都予選を開催し、男34チーム、女子22チームが参加し熱戦を繰り広げた。男子はユースチームの参加が増えなかなかハイレベルは戦いになっている。女子はまだ部活動チームが中心になっている。

U12は従来からリーグ戦形式を実施しており、鈴木正三杯の選手権大会を関東、全国大会の予選と位置付け進めている。

\*U15、U12の大会はスポーツ振興助成制度を利用し、大会への助成を受けての事業が開催できたことは関係者の皆様にご協力をご感謝したい。今後も継続的に推進拡大していきたい。

#### ②生涯スポーツの取り組み(楽しみながらバスケットボールができる環境づくり)

生涯スポーツとしてのバスケットボール競技を実施できる環境を増やしていくため、OA選手権、フレンドリーシップへの参加を増やしていきかけたが、一旦コロナで停滞した環境はなかなか戻らず厳しい状況であった。今後社会人連盟と連携を強化していきたい。

### 4. 育成・強化事業整備

前年度に比較して各種の活動が活発になってきている。

- ①審判育成事業、②指導者育成事業、③TO育成事業、④マンツーマンコミッショナー育成事業、
- ⑤デベロップメントセンター普及及び育成事業、⑥3x3普及事業、⑦国体候補選手強化事業、
- ⑧ジュニア特別強化事業

各々の事業については各連盟、委員会メンバーの努力もあり結果が出てきているが、中でも特に残念なことは国体総合優勝に今一步であったが、強化委員会各メンバーの日頃の努力に感謝いたします。今年度も4カテゴリーが各々の強化策を立て、本国体を目指し活動を続けてもらいたい。

また、次年度よりJBAのD-fund制度が変更になり、各委員会の活動の評価がポイントとなり交付額が変わる。現在、東京は、17ポイントでトップ評価(Aクラス)になっている。

- 1)チーム加盟数(1,000~2,000:4ポイント)、2)競技者登録数(30,000以上:5ポイント)
- 3)指導者数(2から3人/チーム:3ポイント)、4)審判数(2人以上/チーム:5ポイント)

### 5. 年間表彰

- ①第5回全日本O40社会人バスケットボール選手権大会

優勝:MYC(女子)

- ②第5回全日本O40社会人バスケットボール選手権大会

第2位:LEGENDs(男子)

- ③日本スポーツマスターズ2022岩手大会バスケットボール競技

第2位:東京A代表 LEGENDs(男子)

- ④全国高等学校定通制通信体育大会第32回バスケットボール大会

優勝:都立八王子拓真高等学校(男子)

- ⑤第74回全日本大学バスケットボール選手権大会

優勝：東京医療保健大学（女子）

⑥第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ国体」

優勝：東京都代表（知的男子）

⑦第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ国体」

優勝：東京都代表（知的女子）

⑧第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」

第 2 位：東京都成年男子

⑨第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」

第 2 位：東京都少年男子

⑩高松宮記念杯第 5 回全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップ

優勝：黒田電気 Bullet Spirits（男子）

⑪高松宮記念杯第 5 回全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップ

第 2 位：ミツウロコ（女子）

以上